

iPS細胞業界のどまんなかで 「ノーベル賞」を実用化する

CiRA は、iPS 細胞による再生医療の実用化に留まらず、iPS 細胞を利用した創薬や新たな生命科学与医療の開拓を目指し、基礎研究を推進するとともに、再生医療用 HLA ホモ iPS 細胞の製造・配布を行っている日本で唯一の機関です。2020 年からは、産業界へと「橋渡し」する機能を担うことを目的として、京都大学が新規設立した公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA Foundation) に製造・配布業務を分離しています。

iPS細胞の発見以来、研究開発が進み、今ではiPS細胞を用いた臨床試験のニュースを聞くことも珍しくなくなってきたと思います。また、国内のみならず海外からもCiRA FoundationのiPS細胞ストックの提供依頼が増え、ベンチャーの設立や大手企業の参入が

活発化するなど、世界的にも研究開発が進められているところです。技術進展等によるニーズや課題に応じて規制制度は絶えず見直しが行われているところですが、CiRAという先進的な研究が行われ、課題が生まれる現場で、厚労省での経験を活かして実用化に向

けた取り組みのお手伝いをしています。厚労省の外からではありますが、役所は「役に立つ所」の精神を体現すべく業務に取り組んでいます。



内容に関する
参考ホームページ
QR コード



京都大学iPS細胞研究所(CiRA)

間宮 弘晃

MAMIYA Hiraaki

CiRA